

堺リベラル高等学校 学校関係者評価報告書

1. 実施状況

日時 令和4年10月21日(金) 午後3時00分から

場所 愛泉学園 会議室

2. 委員会構成

香ヶ丘リベルテ高等学校校長	1名
挹泉会(同窓会)会長	1名
愛泉学園評議員	3名
愛泉学園監事	2名
堺女子短期大学特任教授	1名
本校関係者	1名

3. 評価・提言

(1) 特色授業や行事を通して専門性を高める

コロナ禍で表現科目の発表の場が激減する中、何かできることをということで「オリジナル音源で高校PR動画をコラボして創ろう!」という企画を立ちあげ、卒業生が作曲した音源に在校生から作詞を募集、外部のスタジオで録音、イラストも在校生が作画し「輝きのカケラ」というオリジナル曲を作成したことは素晴らしく評価のできることです。

コロナ禍でもできることをみんなで模索し実行する過程において生徒も教員もこれまで以上に相手を思いやる気持ちを身につけ成長できたことはとても喜ばしく積極的にコミュニケーションを図れる成果がでた一年で評価できます。新型コロナウイルス感染拡大のため修学旅行は残念なことに中止となってしまいましたが教育活動の制限を受けるなかで卒業制作発表・体育祭や学園祭を実施できたことは先生方の努力、生徒の理解と協力の成果がうかがえます

コロナ禍から3年がたっても収束の光が見えない不安で厳しい状況が続く中で先生方は本学ならではの特色教育を施すため生徒を温かく見守りながら手厚く指導する工夫と努力を続けられて達成度が平均86.7%と昨年度より上昇したことは高く評価いたします。

今後も先生方の熱心な指導により、さらに達成度が上昇することを期待しています。

(2) 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

「生徒に進路目標を設定させる」「生徒の希望する進路を実現させる」が昨年度より達成率を伸ばし、進路決定率88.9%とほぼ達成したことは評価できます。

「早朝テスト」「長期休暇の講座」「外部模試対策」「勉強塾」を実施し学習環境の充実を継続させてきた結果が成果として現れていると思います。

早々に進路目標を設定させることの大切さも証明できているのではないのでしょうか。

「学習習慣を定着させる」についての達成率は減少しているのが少し気にはなるが、コロナの影響で学校の臨時休校などの影響は今年は少なくなると思うので、今年達成率を伸ばして頂けるよう継続して工夫と努力をして頂きたいと思います。

(3) 身だしなみ・マナー指導による女子教育

身だしなみが人に与える印象はとても重要です。身だしなみも自己表現・コミュニケーション能力の一つだと思います。社会に出ていく上でとても大事なスキルとなります。年々制服を美しく着用している生徒が増加していると感じています。気持ちの良い挨拶もしてもらえるので学園にくるのが楽しみとなっています。今後も身だしなみ・マナー指導は継続してください。女子教育の永遠のテーマだと思います。

堺リベラル高等学校 学校関係者評価委員会 名簿

重山香苗	香ヶ丘リベルテ高等学校校長
片山千津美	挹泉会（同窓会）会長
玉牧敏子	愛泉学園評議員
奥中登美子	愛泉学園評議員
希代雅彦	愛泉学園監事
隅谷節子	愛泉学園監事
吉田巖	堺女子短期大学特任教授
安田裕樹	香ヶ丘リベルテ高等学校元校長
筒井仁美	愛泉学園総務課長